



ゆき 雪はどうしてすぐとけるの

まわりが暖かいとすぐとける

降り始めたばかりの雪が地上でとけていき、なかなか積もらないようにすを、見たことがあるのではないのでしょうか。

降ってきた雪がすぐとけてしまうのは、地上の温度が高くて、暖かいときです。

雪は氷の結晶（小さい氷のつぶ）でできているので、雪に接している所の温度やまわりの温度が高いと、雪はとけてしまいます。

大きな氷のかたまりなどは、暖かい所に置いても、とけるまでに時間がかかりますが、雪は小さい氷のつぶなので、暖かいとすぐにとけます。

すぐにとけない雪もある

寒い北海道や東北地方に降った雪は、すぐにはとけません。

寒い地方に住んでいる人は、雪はどうして、なかなかとけないのだろうと、思っているのではないのでしょうか。

寒い地方では、積もった雪が何か月もとけないで、根雪になります。根雪は、降った雪がかたまり、春までとけない状態のことをいいます。

寒い地方では、このような状態になった雪がふつうなのです。（監修・村山 貢司）

